

ドヴォルザーク & 伊福部昭

下野竜也×ブルネロ



ANTONÍN DVOŘÁK

Conductor

Tatsuya Shimono

指揮／下野竜也



AKIRA IFUKUBE

© 飯島隆

世界屈指のチェリスト、ブルネロ & “ゴジラ”作曲家、伊福部昭を聴く

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 op.104, B.191

Antonín Dvořák: Cello Concerto in B minor, op.104, B.191

ショスタコーヴィチ：「弦楽四重奏のための

2つの小品」より第1曲“エレジー”（弦楽合奏版）

Dmitry Shostakovich: No.1 “Elegy” from “2 Pieces for String Quartet”

(for String Ensemble)

伊福部昭：シンフォニア・タプカーラ

Akira Ifukube: Sinfonia Tapkaara

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団

Cello

Mario Brunello

チェロ／マリオ・ブルネロ

©Gianni Rizzotti

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第154回定期演奏会

2024

10/18・19・20

開演 3:00PM
(開場 2:15PM)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口西側／JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A5,000円 B4,000円 C2,500円 D1,000円 (全席指定／税込)

ご予約
お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-025510:00AM～5:00PM
月曜休 ※祝日の場合翌日

芸術文化センター会員先行予約受付開始 6/21(金)

一般発売

インターネット予約

■芸術文化センター <https://www.gcenter-hyogo.jp>■イープラス <https://eplus.jp>

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター
[6/25(火)より、残席がある場合のみ]

6/23(日)

※ブレイグaidでのお取り扱いについては各ブレイグaidにお問い合わせください。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

©主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫県立
芸術文化センター文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)
独立行政法人日本芸術文化振興会

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第154回定期演奏会

各地の主要オーケストラで活躍し、PACでも約20年にわたり
共演を重ねる下野竜也が今シーズンも登場します。

前半は世界屈指のチェリストとして名高いマリオ・ブルネロをソリストに迎えた、
ドヴォルザークのチェロ協奏曲で幕開け。

チェロ協奏曲の中でも特に人気の本作を、名手ブルネロの演奏で聴く喜び! 期待が高まります。

後半はショスタコーヴィチ「弦楽四重奏のための2つの小品」より“エレジー”から。

歌劇「ムツェンスク郡のマクベス夫人」の劇中で、孤独な結婚生活を嘆く美しいアリアの変奏曲を、弦楽合奏版でお届けします。

最後を飾るのは伊福部昭が「ゴジラ」と同時期に作曲した「シンフォニア・タプカーラ」。

「タプカーラ」とはアイヌ語で“立って踊る”という意味で、

北海道の雄大な自然や人々が踊り続ける情景が浮かびあがるような、北海道出身・伊福部の代表作と言える交響曲です。

マエストロ下野竜也が導くドラマティックな3曲、どうぞお楽しみください。

指揮 下野 竜也 Tatsuya Shimono, Conductor

鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。NHK交響楽団をはじめ国内の主要オーケストラの定期演奏会に毎年のように招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、サンノゼ響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍している。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演で指揮を務めている。これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者を歴任。2011年から広島ウインドオーケストラ音楽監督、2017年から広島交響楽団音楽総監督を務める。2023年10月、NHK交響楽団正指揮者に就任。2024年4月より、札幌交響楽団首席客演指揮者ならびに広島交響楽団桂冠指揮者に就任。京都市立芸術大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にもあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。NHK大河ドラマテーマ曲収録（これまでに6作品）、NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティを務めるなど、放送においても活躍している。PACとは定期演奏会や特別演奏会で多数共演を重ねている。公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

チェロ マリオ・ブルネロ Mario Brunello, Cello

イタリアのチェロ奏者マリオ・ブルネロは、自由な表現で聴衆を魅了し、ソリストとして、室内楽奏者として、また、イタリアのドロミテ音楽祭の芸術監督を務めるなど、幅広い活動を続けている。1986年国際チャイコフスキー・コンクールでイタリア人として初めて優勝し、一躍脚光を浴びた。この優勝を機に、パッパノー、ゲルギエフ、シャイー、コープマン、ムーティ、小澤征爾といった偉大な指揮者と共演し、ロンドン響、フィラデルフィア管、スカラ座フィルなど世界一流オーケストラに招かれている。室内楽奏者としても、クレメール、バシュメット、アルゲリッチ、ルケシーニ、カルミニョーラ、ツィンマーマン、ポリーニなどと充実した演奏会を重ねている。使用楽器は、1600年代初頭に製作された「マジジーニ」。一方で、近年は「チェロ・ピッコロ」を好んで演奏し、バロックのヴァイオリンのための作品に取り組み、その可能性を追究している。録音も数多く、EGEAレーベルやドイツ・グラモフォンから多彩な作品をリリースしている。芸術文化センターには2022年にリサイタルで出演した。

兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元氣文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC（パック）オーケストラ。 <http://hpac-orc.jp>



PAC公式SNS



@HPACorchestra



@hpac_orchestra



@hpac_orchestra



YouTube



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員への
ご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

